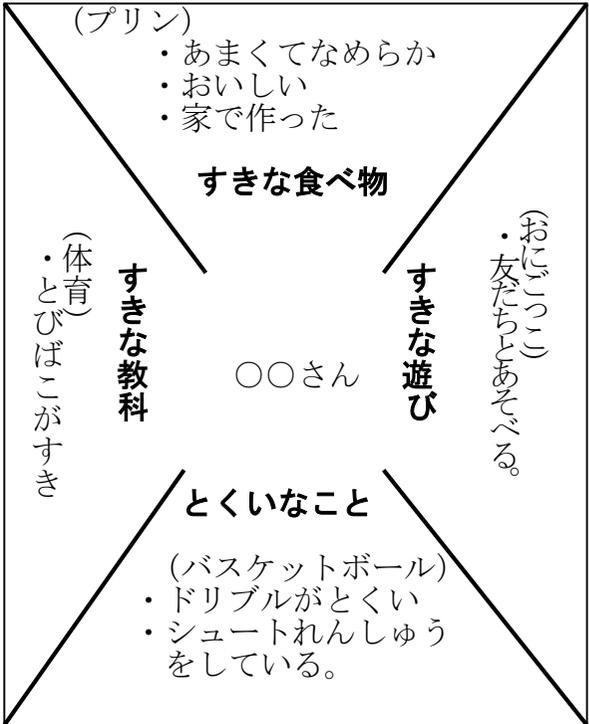
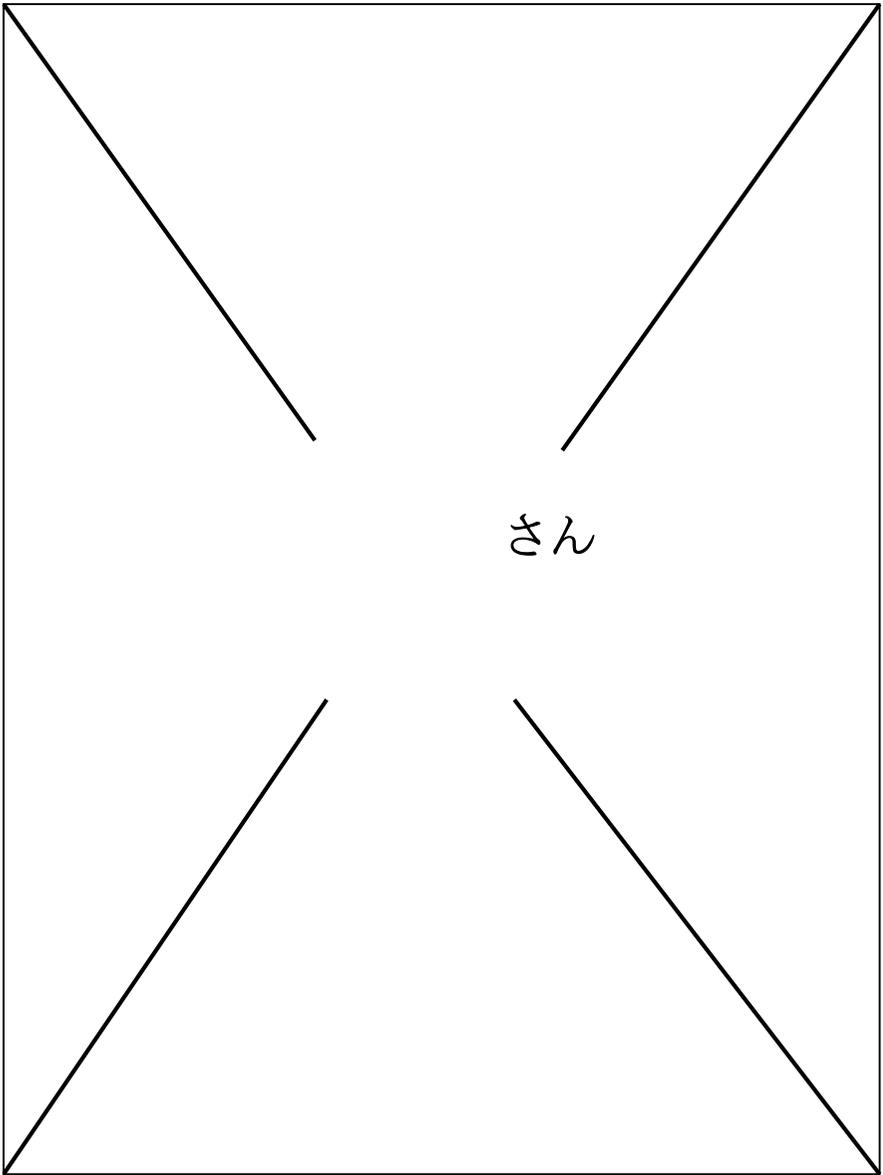


《友だちをしようかいしよう①》

【例】 友だちにインタビューをして、書くためのざいりょうをあつめましよう。



友だちにインタビューして、じょうほうをたくさん集めましよう。そして、作文を書くじゆんぴをしましよう。



《友だちをしようかいしよう》①

【例】 集めたざいりょうをもとに、友だちをしようかいする文章を書きましよう。

わたしの友だちの川上幸子さんをしようかいします。

幸子さんのとくいなことは、バスケットボールだそうです。休み時間に、ねっしんにシュートれんしゅうをしています。ドリブルがとても上手で、かっこいいです。

すきなあそびは、おにごっこだそうです。たくさんのおだちとあそべるので、お気に入りでそうです。

幸子さんは、体を動かすのが大好きな女の子です。

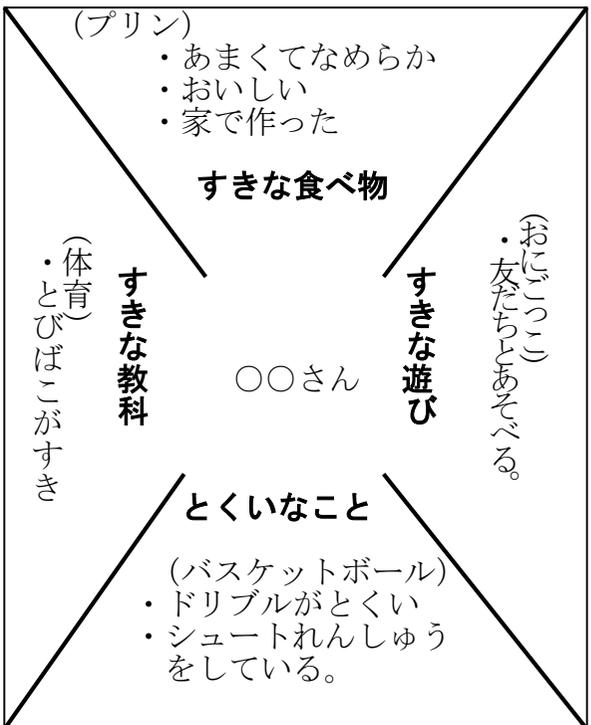
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--



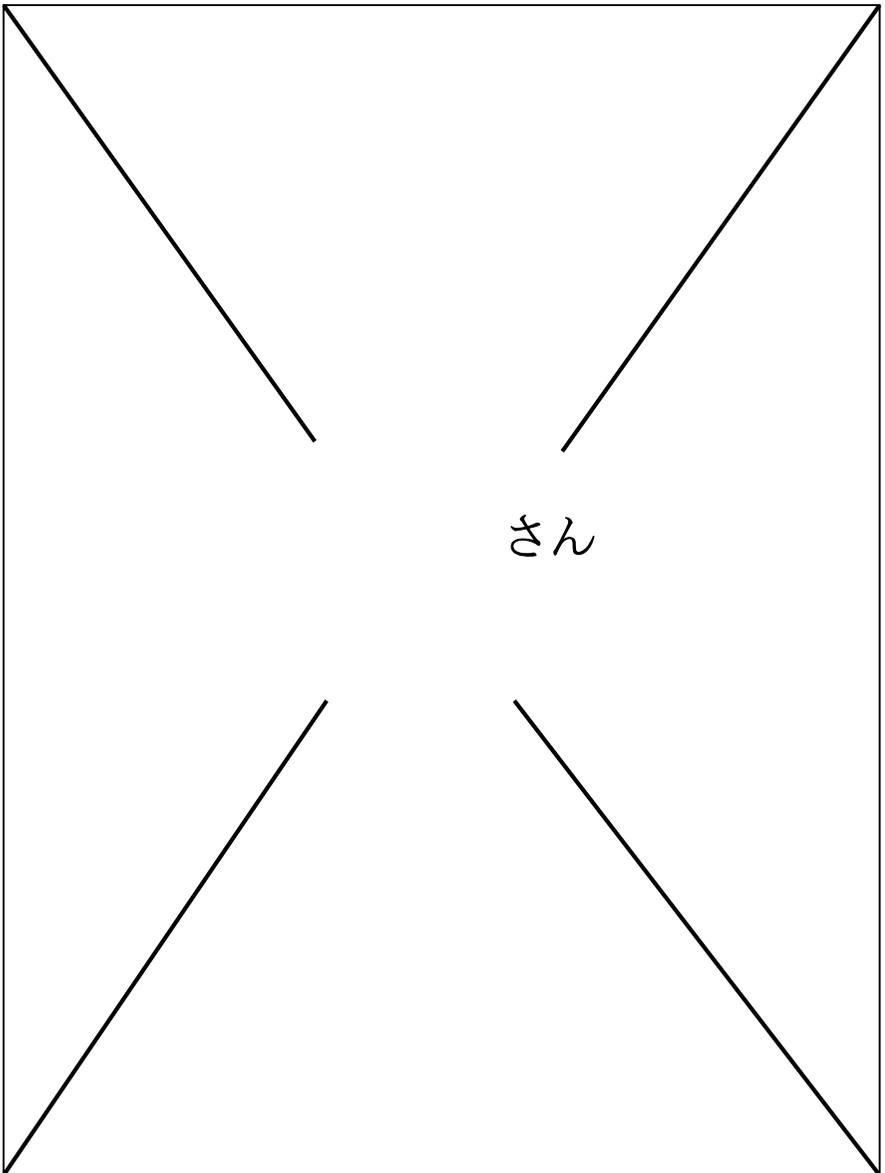
友だちに読んでもらいサインをもらおう。
()

《家ぞくをしようかいしよう》①

【例】 一 家ぞくにインタビューをして、書くためのざいりょうをあつめましよう。



家ぞくにインタビューして、じょうほうをたくさん集めましよう。そして、作文を書くじゅんびをしましよう。



《家ぞくをしようかいしよう》①

— 集めたざいりょうをもとに、家ぞくをしようかいする文章を書きましよう。

【例】

わたしのあねの川上幸子をしようかいします。

あねのとくいなことは、バスケットボールだそうです。休み時間に、ねっしんにシュートれんしゅうをしています。ドリブルがとても上手で、かっこいいです。

すきなあそびは、おにごっこだそうです。たくさんのお友達とあそぶので、お気に入りでそうです。

あねは、体を動かすのが大好きな女の子です。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--



家ぞくの人読んでもらいサインをもらおう。
()

○自分の考えがはつきり伝わるように、組み立てを考えましょう。
一自分の学校のよさを書きましよう。



わたしは、自分の学校
が大好きです。

なぜかというと、わたしの学校には、金かんバンドがあるからです。四年生から練習を始めます。オーディションをして、自分の樂きがきまると、とてもうれしいです。運動会やそふぼさんかんで、地いきの方のためにもえんそうします。音楽会にも出場します。

もう一つ理由があります。それは、バザーがあるからです。バザーは六年生がゲームのお店を開いてくれたり、おうちの人達がやきそばやかき氷を作ってくれたりします。友達とお店を回り、とても楽しくすごすことができます。みなさんの学校にも、ありますか。

このような理由で、わたしはどうぶ小学校が大好きです。



○わたしは自分の学校が大好きです。

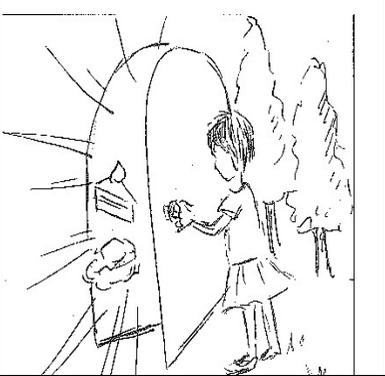
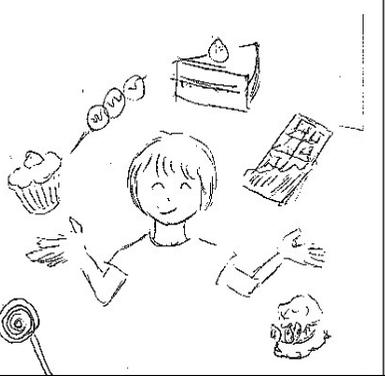
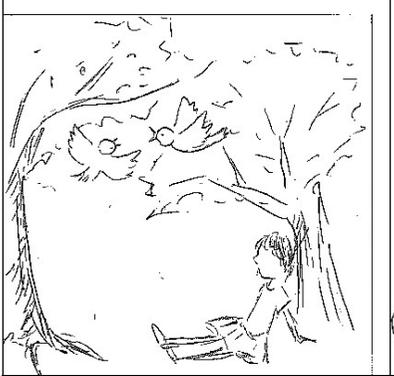
○なぜかというと、

○もう一つ理由があります。

○このような理由で、

.....

【物語のあらすじを書こう】
 一 東部さんは、物語の内容を①始まり↓②できごと↓③できごとの変化↓④終わりの四場面に決め、自分で絵をかきました。まだできていないところを書き足して、物語のあらすじを書きましょう。

	①始まり	②できごと	③できごとの変化	④終わり
<p>絵</p>				
<p>あらすじ</p>	<p>主人公は、森の中をさん歩するのが大好きだ。 この日も森の中をさん歩していると、何かふし ぎな音が聞こえてきた。</p>	<p>音が聞こえているところに近付いていくと、そ こには、(よつぎを書いてみよう。)</p>	<p>おかしの世界へ行った主人公は、(よつぎを書いてみよう)</p>	<p>小鳥のさえずりで目をさますと、主人公はいつ の間にか、森の中にもどっていた。 「と主人公は 思った。」</p>

○自分の考えがはっきり伝わるように、組み立てを考えて書きましょう。
一 もしも夏休みに出かけるなら「遊園地」か「キャンプ」か、文章を書いてみましょう。

※「初め」に自分の考えの中心を書きます。

わたしは、もし夏休みに遊びに行くならプールがいいと思います。その理由は三つあります。

一つ目は、流れるプールが好きだからです。流れのっておよぐとても楽しいです。

二つ目は、スライダーがあるからです。高いところからすべってくると、スピードが出ておもしろいと思います。

三つ目は、近くにプールがあるからです。近くにあると、何回も行って楽しむことができます。

このような理由から、わたしは、もし夏休みに行くならば、プールのほうがいいと思います。

※「中」に理由と内容のまとまりごとをくわしく書きます。

※「終わり」に自分の考えの中心をはっきりと伝えるために、もう一度書きます。



○わたしは、

○一つ目は、

Large dotted writing area for the student's response.

○自分の考えがはつきり伝わるように、組み立てを考えましょう。
一自分の好きなものは何か、文章を書いてみましょう。

※「初め」には、名前と
好きなものをいくつ
しょうかいするかを
書きます。

わたしの名前は東部あ
りさです。好きなものを
二つしょうかいたします。
一つ目は、お花です。
家には、たくさんのチュ
ーリップがさいていて、
きれいだからです。

二つ目は、自てん車で
す。天気の良い日に自て
ん車で出かけると気もち
がいいからです。

お休みの日は、よく自
転車にのって花を見に出
かけます。みなさんもい
っしょに出かけてみませ
んか。

※「中」には、内容のま
とまりことに理由もつ
けくわしく書きます。

※「終わり」には、自分
の考えの中心をはっき
りと伝えて書きます。

○わたしは、

○一つ目は、





一 つぎの文で正しくないところを——線を引きましょう。

	で	き	
	き	た	体
	た	。	育
	よ	思	の
	。	わ	時
	と	ず	間
	さ	、	に
	け	「	、
	ん	や	さ
	で	っ	か
	い	た	あ
	た	あ	が
	。	、	り
		先	が
		生	で

二 まちがいをなおして、正しい文を書きましょう。

と	「	き	
さ	や	た	体
け	っ	。	育
ん	た	思	の
で	あ	わ	時
い	、	ず	間
た	先	、	に
。	生		、
	で		さ
	き		か
	た		あ
	よ		が
	。		り
			が
			で

三 会話文を使って、今日の日記を書きましょう。

し	と	「	
た	声	帰	学
。	を	っ	校
て	か	て	で
つ	け	か	、
ぼ	て	ら	み
う	、	あ	か
を	あ	そ	さ
し	そ	ぼ	ん
て	ぶ	う	に
あ	や	。	
そ	く		
ん	そ		
だ	く		
。	を		

※会話文は、行を変えて、つぎの行に書くよ。

チェック ()



一 つぎの文で正しくないところを――線を引きましょう。

い	を	き	
ま	買	ま	き
し	っ	し	の
た	て	た	う
。	。	。	、
	と	「	地
	言	お	い
	っ	め	き
	て	ん	の
	、	と	夏
	買	か	ま
	っ	き	つ
	て	ご	り
	も	お	に
	ら	り	行

二 まちがいをなおして、正しい文を書きましょう。

と	「	き	
言	お	ま	き
っ	め	し	の
て	ん	た	う
、	と	。	、
買	か		地
っ	き		い
て	ご		き
も	お		の
ら	り		夏
い	を		ま
ま	買		つ
し	っ		り
た	て		に
。	。		行

三 会話文を使って、今日の日記を書きましょう。

と	「	た	
言	上	。	今
わ	手	友	日
れ	だ	だ	は
て	っ	ち	、
、	た	に	歌
う	よ	、	の
れ	。		テ
し			ス
か			ト
っ			が
た			あ
で			り
す			ま
。			し

※会話文は、行を変えて、つぎの行に書くよ。

チェック ()



一 「〜です」「〜ます」のおわり方にそろえて、作文を書きました。おわり方のそろっていないところを見つけて、——線をつけましょう。

本	た	う	
を	ろ	大	さ
代	う	き	い
表	と	な	た
す	い	川	ま
る	う	が	け
川	よ	あ	ん
で	び	り	に
す	か	ま	は
。	た	す	、
	も	。	と
	あ	ば	ね
	る	ん	川
	。	ど	と
	日	う	い

二 まちがいをなおして、正しい文を書きましよう。

日	た	う	
本	ろ	大	さ
を	う	き	い
代	と	な	た
表	い	川	ま
す	う	が	け
る	よ	あ	ん
川	び	り	に
で	か	ま	は
す	た	す	、
。	も	。	と
	あ	ば	ね
	り	ん	川
	ま	ど	と
	す。	う	い

三 「〜です」「〜ます」のおわり方にそろえて、今日の日記を書きましよう。

も	ま	い	
っ	し	ま	音
と	た	し	楽
上	。	た	の
手	家	。	時
に	で	り	間
な	も	ズ	に
り	れ	ム	、
た	ん	に	山
い	し	あ	の
で	ゆ	わ	ポ
す	う	せ	ル
。	し	て	カ
	て	歌	を
	、	え	歌

※文のおわり方がそろっているかな。

チェック (

)



一 「くだ」「くである」のおわり方にそろえて、作文を書きました。おわり方のそろっていないところを見つけて、——線をつけましょう。

く	り	公	
さ	ま	園	今
ん	し	で	日
走	た	遊	は
っ	。	ぶ	、
た	お	こ	天
の	に	と	気
で	ご	に	が
、	っ	し	よ
楽	こ	た	か
し	を	。	っ
か	し	五	た
っ	て	人	の
た	、	集	で
。	た	ま	、

二 まちがいをなおして、正しい文を書きましょう。

ん	っ	公	
走	た	園	今
っ	。	で	日
た	お	遊	は
の	に	ぶ	、
で	ご	こ	天
、	っ	と	気
楽	こ	に	が
し	を	し	よ
か	し	た	か
っ	て	。	っ
た	、	五	た
。	た	人	の
	く	集	で
	さ	ま	、

三 「くだ」「くである」のおわり方にそろえて、今日の日記を書きましょう。

ひ	し	ス	
け	て	ン	わ
る	、	に	た
よ	と	行	し
う	て	っ	は
に	も	た	、
な	ワ	。	五
り	ク	新	時
た	ワ	し	に
い	ク	い	ピ
と	し	曲	ア
思	た	を	ノ
っ	。	れ	の
た	早	ん	レ
。	く	習	ッ

※文のおわり方がそろっているかな。

チェック ()



一 つぎの文で正しくないと「ろに」——線を引きましょう。

あ	と	「	
た	思	こ	ぼ
た	い	た	く
ま	ます	つ	は
る	。	で	、
か	こ	な	冬
ら	た	べ	に
で	た	が	な
す	つ	食	る
。	で	べ	と
	食	たい	、
	べ	い	
	る	」	
	と		
	、		

二 まちがいをなおして、正しい文を書きましょう。

ら	こ	で	
で	た	な	ぼ
す	つ	べ	く
。	で	が	は
	食	食	、
	べ	べ	冬
	る	た	に
	と	い	な
	、	」	る
	あ	と	と
	た	思	、
	た	い	「
	ま	ま	こ
	る	す	た
	か	。	つ

三 心の中で思ったことを「」にして、今日の日記を書きましょう。

を	家	が	
作	に	食	今
っ	帰	べ	日
て	る	た	の
ま	と	い	夕
っ	、	」	ご
て	お	と	は
い	母	思	ん
ま	さ	っ	に
し	ん	て	、
た	が	い	「
。	か	ま	か
	ら	し	ら
	あ	た	あ
	げ	。	げ

※心の中で思ったことは、行をかえないで書くよ。

チェック ()



一 つぎの文で正しくないと「ろ」に——線を引きましょう。

と	「	し	
、	ド	合	学
心	ッ	い	き
の	ジ	を	ゆ
中	ボ	し	う
で	ー	て	会
思	ル	い	で
っ	が	る	、
て	い	と	遊
い	い	き	び
た	な	、	を
。	」		決
			め
			る
			話

二 まちがいをなおして、正しい文を書きましよう。

っ	ボ	し	
て	ー	合	学
い	ル	い	き
た	が	を	ゆ
。	い	し	う
	い	て	会
	な	い	で
	」	る	、
	と	と	遊
	、	き	び
	心	、	を
	の	「	決
	中	ド	め
	で	ッ	る
	思	ジ	話

三 心の中で思ったことを「」にして、日記を書きましよう。

な	な	を	
っ	あ	し	母
た	」	た	の
の	と	。	お
で	思	「	手
、	っ	き	伝
気	た	た	い
も	。	な	で
ち	で	い	、
が	も	の	ト
よ	、	で	イ
か	き	、	レ
っ	れ	い	そ
た	い	や	う
。	に	だ	じ

※心の中で思ったことは、行をかえなくて書くよ。

チェック ()



一 つぎの文で正しくないところを——線を引きましょう。

。	ち	う	
	と	で	ぼ
	し	す	く
	た	。	の
	デ	ぶ	す
	ラ	ど	き
	ウ	う	な
	エ	の	食
	ア	中	べ
	が	で	も
	、	も	の
	す	、	は
	き	ふ	、
	で	ち	ぶ
	す	ぶ	ど

二 まちがいをなおして、正しい文を書きましょう。

	ち	う	
	と	で	ぼ
	し	す	く
	た	。	の
	デ	ぶ	す
※下の例のように、句読点は、 マスの外に書いてもよい。 ↓	ラ	ど	き
	ウ	う	な
	エ	の	食
	ア	中	べ
	が	で	も
	、	も	の
	す	、	は
	き	ふ	、
	で	ち	ぶ
	す	ぶ	ど

三 句読点を書く場所に気をつけて、今日の日記を書きましょう。

か	う	き	
ら	の	肉	わ
で	で	で	た
す	何	す	し
。	は	。	の
も	い	や	す
り	も	き	き
も	お	肉	な
り	か	は	食
食	わ	、	べ
べ	り	ご	も
て	が	は	の
い	で	ん	は
ま	き	に	、
す。	る	合	や

※句読点を書く場所を、たしかめよう。

チェック ()



一 つぎの文で正しくないところを——線を引きましょう。

は	、	。	
や	平	小	わ
く	お	さ	た
お	よ	い	し
よ	ぎ	と	の
げ	が	き	じ
る	と	か	ま
よ	く	ら	ん
う	い	習	は
に	で	っ	、
し	す	て	、
た	。	い	水
い	も	る	え
で	っ	の	い
す	と	で	で
す	と	で	す

二 まちがいをなおして、正しい文を書きましょう。

や	平	小	
く	お	さ	わ
お	よ	い	た
よ	ぎ	と	し
げ	が	き	の
る	と	か	じ
よ	く	ら	ま
う	い	習	ん
に	で	っ	は
し	す	て	、
た	。	い	水
い	も	る	え
で	っ	の	い
す	と	で	で
。	は	、	す。

三 句読点を書く場所につけて、自分のじまんについて書きましょう。

で	っ	読	
、	て	ん	ぼ
一	か	で	く
万	ら	い	の
さ	百	る	じ
つ	さ	こ	ま
読	つ	と	ん
も	読	で	は
う	ま	す	、
と	し	。	本
思	た	三	を
い	。	年	た
ま	一	生	く
す	年	に	さ
。	間	な	ん

※句読点を書く場所を、たしかめよう。

チェック ()